

より早く!!
高く!!

地震発生

●津波注意報が発表された。

(揺れを感じなくても)

避難に備える

●海水浴や磯釣りはすぐに中止し、すばやく陸上の安全な場所へ避難する。

●沿岸部にいる人はいつでも避難できるように準備する。



●強い地震や長時間の揺れを感じた
●津波・大津波警報が発表された

(揺れを感じなくても)

できるだけ早く避難する

●海岸にいる人は、直ちに海岸から離れ、すばやく避難所や高台等の安全な場所へ避難する。

●沿岸部にいる人は、直ちに避難する。



現在の居場所から津波到達までに自分の避難できる時間を考慮する

避難所まで避難できる

避難所へ

避難所まで避難できない

生命優先で
津波一時避難場所
又は高台へ

避難所へ

その後

●正しい情報を防災行政無線(戸別受信機含む)・ラジオ・テレビで入手する

●注意報・警報が解除されるまで海岸や河川には近づかない

津波から避難する3つのポイント

地震の揺れの程度で自ら判断しない

津波の危険地域では、小さい揺れでも、揺れを感じなくても、まずは避難を優先させましょう。

車の避難は地域で決める

避難時の車利用については、地域ごとに、ルールを作って避難するようにしましょう。東日本大震災では、沿岸部各地で避難しようとする車により渋滞が発生し、被害が拡大しました。

“遠く”よりも“高く”に

すでに浸水が始まってしまった場合などは、思うように避難できないことが予想されます。そんな場合は、遠くよりも高い場所などに避難しましょう。

避難所 南相馬市からの避難勧告及び避難指示の発令により開設する施設

津波一時避難場所 津波発生時に時間的な都合等で避難所まで避難できない場合など、一時的に身を守るために避難する場所

■ 避難の心得

高い場所へ避難!

避難所まで遠い場合や、到達時間が短い場合は、近くの高台や津波一時避難場所に避難しましょう。



津波は前後左右から押し寄せる!

津波は海側だけでなく、地形によっては、前後左右から押し寄せてくることもあります。



津波は繰り返し押し寄せる!

津波は繰り返し押し寄せてくるので、注意報・警報が解除されるまで、避難している場所に留まりましょう。



海岸・河川に近づかない!

津波は河川を遡上します。注意報・警報が解除されるまでは、海岸はもとより河川にも近づかない(真野川・新田川・太田川・小高川・宮田川など)。



一度避難したら戻らない!

東日本大震災では、自宅や家族の様子を見に戻ったことで、多くの方が津波の犠牲となりました。「一度避難したら、注意報・警報が解除されるまで、決して自宅に戻らない」など、家族との避難の取り決めを行っておきましょう。



津波はこんなところに注意!

深海ではジェット機並みの速さ!

津波の速さは海が深いほど早く、津波が太平洋を伝わる速さはジェット機並にもなります。海岸近くでも秒速10mほどの速さなので、津波が見えてからでは逃げ切れません。

津波の高さは想像を超える!

津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。また、前後左右から押し寄せてくることもあります。

引き潮がなくても津波はおそってくる!

津波の前に、引き潮が必ずあるとは限りません。地震の起こり方や、震源付近の地形によっては引き潮が起らないこともあります。



注意報・警報の分類
(数値表現/定性的表現)

大津波警報

(10m超、10m、5m/「巨大」)

大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。沿岸部や川沿いにいる人は直ちに高台など安全な場所へ避難してください。



津波警報

(3m/「高い」)

津波による被害が発生します。沿岸部や川沿いにいる人は直ちに高台など安全な場所へ避難してください。



津波注意報

(1m/表記しない)

海の中や海岸付近は危険です。海の中にいる人は直ちに海から上がって、海岸から離れてください。

